

他事業におけるトラブル事象について
(他事業の監視委員会等で報告されたもの<平成23年分>)

事業名	発生年月日	件名	概要
豊田	平成23年6月6日	熱媒ボイラーA号機の破損	ボイラーのケーシングが燃焼熱により局部的に過熱され開口した。
	平成23年8月6日	小型トランスNo.1抜油装置から洗浄油漏洩	シーケンスの手動操作において入力漏れがあり、処理物のない状態で洗浄油が供給され室内漏洩した。(20リットル)
	平成23年8月30日	蒸留エリア内でのポリタンクからのPCB含有廃液の漏洩	廃液保管用ポリタンクが材質欠陥のため開口し廃液が室内漏洩した。(1リットル)
	平成23年12月1日	攪拌洗浄エリアにおける洗浄排水の漏洩	ダイヤフラム弁の組立て不良により、ダイヤフラムが開口し室内漏洩した。(30リットル)
	平成23年12月24日	攪拌洗浄エリアにおける洗浄液の漏洩	攪拌槽液レベルを示す計器の誤信号により、上部蓋の隙間より室内漏洩した。(260リットル)
東京	平成23年1月9日	コンデンサ破砕系局所排気PCB濃度高高	活性炭の性能低下によるPCB濃度上昇のためインターロックが作動した。
	平成23年2月20日	コンデンサ破砕系局所排気PCB濃度高高	活性炭の性能低下によるPCB濃度上昇のためインターロックが作動した。
	平成23年2月22日	コンデンサ解体GB系統排気PCB濃度高高	活性炭の性能低下によるPCB濃度上昇のためインターロックが作動した。
	平成23年3月26日	コンデンサ破砕系局所排気PCB濃度高高	シール用窒素ガスの流量超過により活性炭負荷上昇の結果PCB濃度上昇のためインターロックが作動した。
	平成23年6月28日	予備洗浄溶剤蒸留供給ポンプ出口アキュムレータからの溶剤漏洩	ポンプ吐出圧脈動吸収のためのアキュムレーター内の金属伸縮部品が金属疲労により破損し、溶剤が室内漏洩した。(5リットル)
	平成23年7月7日	コンデンサ破砕系局所排気PCB濃度高高	コイル切断時に高濃度のPCBガスが発生しPCB濃度上昇のためインターロックが作動した。
	平成23年7月30日	水熱設備ストレーナ洗浄ボックスでの苛性ソーダ被液	ポートグローブに小さな穴が開き、苛性ソーダが腕に付着した。
	平成23年8月10日	亜鉛(Zn)下水道排除基準の超過	冷却水を含む排水を下水道に放流するときに亜鉛濃度の高い沈殿物を巻き込み排除基準値(2.0mg/リットル)を超える濃度となった。(2.3mg/リットル)
	平成23年9月27日	コンデンサ破砕系局所排気PCB濃度高高	活性炭の性能低下によるPCB濃度上昇のためインターロックが作動した。
	平成23年12月21日	コンデンサ容器予備洗浄No.1洗浄槽ポンプストレーナー漏洩	ストレーナ蓋のパッキンが損傷し洗浄液が漏洩した。(28リットル)

事業名	発生年月日	件名	概要
大 阪	平成23年1月24日	切断・分別室 解体テーブルからの落下・転落時に右手甲を創傷	コンデンサ解体切断機のコンデ ンサ固定台の上にて切断刃固定板を取り外す作業中、転落した。床までの高さは800mm。
	平成23年6月16日	スクラバ液入れ替え時の飛沫被液	ドラム缶への液抜出作業中にホースが踊って飛沫が顔にかかった。
	平成23年7月21日	蒸留残渣中間槽配管フレキ部からの溶媒漏洩	金属製フレキシブルホースが劣化し溶媒が室内漏洩した。
	平成23年8月23日	西棟 改修工事中に熱中症を発症	保護マスク装着作業に不慣れであったため熱中症を発症した。
	平成23年9月28日	移送配管からトランス油の漏洩	配管の工事後に装着したパッキンのサイズが不適であったため通液時に室内漏洩した。(1リットル)
	平成23年11月30日	バンドソーにワークをセットする時に腰痛発生	処理物(重量100kg)を動かす際に腰に負荷が掛かった。
北海道	平成23年2月16日	小型トランス切断装置周辺(マニプレータA)における作動油の漏洩	工事のため取外した圧力計を復旧する前に油圧系統の作動油を通液したため、室内漏洩した。(0.24リットル)
	平成23年3月11日	車載トランス予備洗浄における洗浄液の漏洩	トランス内部の洗浄のため洗浄液を供給する際、流量設定が不適切であったためオーバーフローし室内漏洩した。(16リットル)
	平成23年3月21日	真空超音波洗浄エリアにおける洗浄液の漏洩	計器用変成器の底部に開けた液抜き穴がキムタオルで閉塞し液が抜けず側壁の穴から室内漏洩した。(1リットル)
	平成23年5月15日	大型トランス予備洗浄中の洗浄液の漏洩	トランスの液面計のパッキンの開口部を塞いでいた固形物が洗浄の過程で溶解し内部の洗浄液が室内漏洩した。(8リットル)
	平成23年8月27日	解体作業員の軽度熱中症の発症	体調不良状態で通常作業に従事したため軽度熱中症を発症した。
	平成23年9月28日	浄化槽排水全窒素の排出管理目標値(日間平均)の超過	生活排水を処理する浄化槽の活性汚泥の管理条件に不具合があり全窒素濃度が協定値(日平均30mg/リットル)を超過した(同34mg/リットル)
	平成23年12月6日	特殊品解体エリア予備洗浄中の洗浄液の漏洩	洗浄液を供給するノズル付きホースをホーススタンドに戻した際に、出口バルブが他のホースに接触し開いたため室内漏洩した。(7リットル)

(参考)

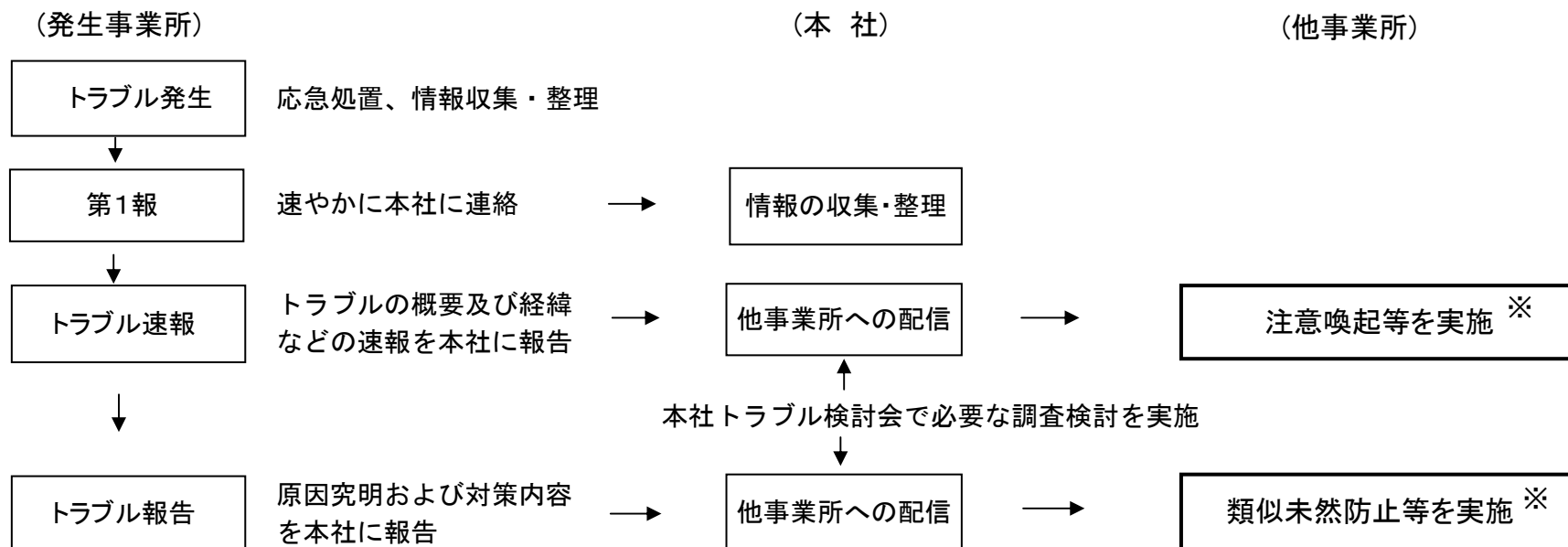
事業名	発生年月日	件名	概要
北九州	平成23年8月3日	第2期処理施設特殊解体室での天井材の一部落下	結露水の浸入による強度低下のため天井材が落下した。

○トラブル発生に伴う他事業所への水平展開について

●水平展開の実施状況

事業所で発生したトラブル情報は本社に報告され、各事業所には本社より速やかに情報を配信し、類似トラブルの未然防止対策などの水平展開がされる。

●社内の水平展開フロー図



※ 当事業所の水平展開については、本社からの情報に基づき、必要に応じ運転会社に対しても情報を共有のうえ、関連する設備、機器又は作業手順等について点検を行い、同様のトラブル事象の未然防止対策を講じることで安全運転並びに適正処理等に役立てております。

